

コロナ禍が転機に 当院におけるクリニカルパス委員会 運営様式の変更

 済生会西条病院

烏谷 力¹⁾ 秋山 直美¹⁾

石井 博²⁾

1)看護部 2)医師

C.O.I.情報

この演題発表に関し、演者、共同演者
いずれも開示すべきC.O.I.はありません

施設紹介は
当院立石が発表しましたので
省略させていただきます



2023 済生会西条 クリニカルパス委員会

コロナ禍以前(2019)の委員会運営

日 時 : 月1回

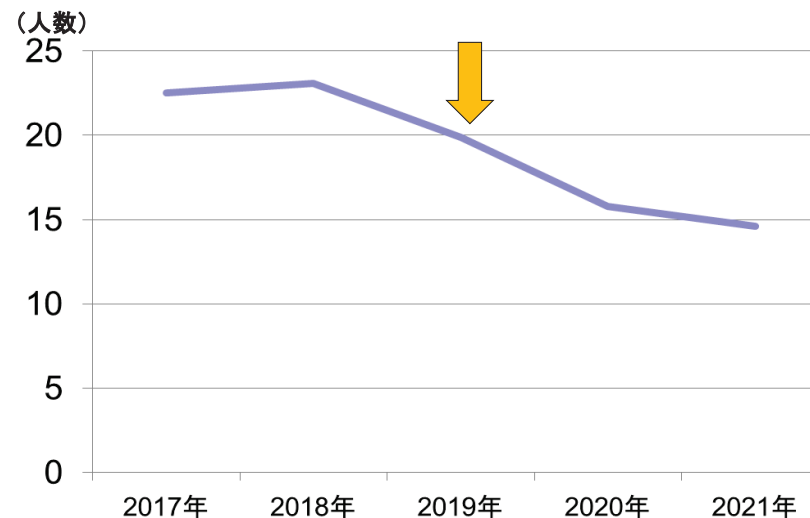
17:15開始 ~ 18:00 or 18:30終了

構 成 員 : メディカル・メディカルスタッフ
30名弱 (半数は看護師)

参加形式 : 全員参加型

2023 済生会西条 クリニカルパス委員会

2019年を境に参加人数が激減



2023 済生会西条 クリニカルパス委員会

委員会への参加人数が低下した理由

■ 看護師業務の逼迫化

感染病床への看護師配置に伴い
一般病床の負担が増加



■ 夕刻開催による弊害

子供の習い事の送迎に支障がでる
夕食の支度が遅れる

■ 委員会残業手当の廃止

参考：『コロナの影響で職場の労働環境が悪化した』という
調査報告あり（2021年看護協会調べ）

2023 済生会西条 クリニカルパス委員会

対策：運営をスリム化

	Before	After
参加形式	全員参加	代表者参加
開催時間	業務時間外 (60分以上)	ランチタイム (30分以内)
伝達事項	口頭	書類配付
新規パス・改定の 審査	議論	院内メール

無理・無駄の削減と効率化を達成
委員会活動も縮小なく維持



考察



進む少子化



進む高齢化

医療職の負担増！
今回の変更は時代に
即した変更であったと
考える



生産人口の
減少・高齢化



With
感染症

2023 済生会西条 クリニカルパス委員会

課題(懸念事項)

代表者とリンク委員の間に格差が生まれるのでは

パスに関する知識の格差
モチベーションの格差

対策

1. 勉強会

対象：新規加入者・委員会経験の浅いスタッフ

2. 各部署に年間1個のパス分析を課す

全員に経験を積んでもらうことができる

2023 済生会西条 クリニカルパス委員会

最後に

3年ぶりの院内パス大会を春に開催した結果

- ✓ 参加者多数
- ✓ パス委員のモチベーションUP
- ✓ 内容に対する評価も上々

院内パス大会は
委員会活動を活性化させる
ツールだなと実感しました

